



Address : Osaka YMCA, 1-5-6 Tosabori Nishiku Osaka 550-0001 Japan
Phone : (06)6441-0893

10
2012

主題 (2012/2013)		
国際会長	Be the light of the world 「世を照らす光となろう」	Share your blessings in love 「恵みを愛もて分かち合おう」
アジア会長	Years bring wisdom 「歳月はY'Sをワイズ(賢者)にする」	Action vitalize life with strength 「行動が活力を呼び覚ます」
西日本区理事	Let Y'smen Light Shine before Others In the club, in the community in the world 「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」	
中西部長	Let's nurture Y's dynamic spirit! 「ワイズの活力を育てよう」	
大阪クラブ会長	Let's spread the Y's spirit 「広げよう ワイズメンのこころ意気」	

会長	北村	知三	大盛
直前会長	清水	汎	
副会長	脇本	博	
	森嶋	弘明	
	豊島	正利	
書記	尾和	大盛	
会計	松原	伸幸	
プリン	田尻	忠邦	
連絡主事			

【今月の聖句】

「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させて下さったのは、神である。」

新約聖書 コリントの信徒への手紙1 3章6節

【10月例会プログラム】(BF強調月間)

とき：2012年10月9日(火) 18:15 ~ 20:15

ところ：大阪土佐堀YMCA 9階

司会 石橋 ルキ

1. 開会の鐘 北村 知三会長
2. クラブソング
3. ゲスト・メネット紹介
4. 会長報告
5. 「日々の糧」 斉唱・晚餐
6. スピーチ 森本栄三メン (大阪高槻クラブ)
テーマ：「マザーテレサに学んだ奉仕の心」
7. 誕生日・結婚記念日のお祝い・ニコニコ
8. インフォメーション
9. YMCAニュース
10. 閉会の鐘 北村 知三会長

受付：北村・條・清水(民)



於：9月例会

【第2例会のご案内】

とき：2012年10月16日(火) 19:00 ~ 20:30

ところ：大阪土佐堀YMCA 6階 601号室

(変更になることがありますので、ご注意ください。)

今月の誕生日：末岡祥弘(24)

メネットさんお誕生日：清水閔子（１８）武村信子（３０）

ご結婚記念日：窪田正道（１８）

【聖句に寄せて】

宇野 義男

子どもを育てているとき、いつも陥りがちなあやまちがあります。それはまるで粘土をこねるかのように、子どもを親の思いのままに育てようとする事です。たとえわが子といえども、一人の人間を人の手によって処理しようとし、その人の運命をコントロールしようとする事。それこそ人間の拷問と言えます。

しかし、幸いなことに、人間の果すべき教育には限界があります。「植え、注ぐ」ということです。それ以上でもそれ以下ではありません。

私のY M C A幼稚園園長時代のあるとき、幼稚園のきりん組のT君が自宅で怪我をしてしばらく休んでいたため、担任の先生は、園児たちに絵を描かせてお見舞にしようとその準備をしていたが、とりあえず園児たちにその方法を相談してみました。

すると、園児たちの数人が「せんせい、神様に早くよくなるようお祈りしよう！」と申し出ました。先生は予期しないこたえに一瞬吃驚したが、園児たちのやさしい心と友達に対する限りない愛のこもった申し出に心をうたれて、早速みんなでT君の全快を神に祈りました。その翌朝の職員会でこの報告がありました。

園児と大人（両親・先生）の心が正しく溶け合い、結びついているときだけ、そこに本当の意味での生活の明るさと豊かさがあることを私は教えられました。

【 9月出席状況】

9月出席状況		在籍	例会出席	アメ ツイ ブク	メ ネ ット	ゲ ス ト	ビ ジ ター	出席率	二献 コ金 ニ コ
	正会員	15	10		3	11	4	66.7%	22,000円
	功労広義会員	2							
	合計	17	10		3	11	4		

9月例会の出席者

メネット：北村信子会長、脇本真知子、崔金順メネット

ビジター：松浦孝次さん（センテニアルクラブ）、岡西博司、森伸二郎さん（京都プリンスクラブ）
井上公男さん（大阪西クラブ）

ゲスト：村井達司さん（脇本博メンゴ友人）、能勢嘉則さん（牟メンゴ友人）
池田聡美、川本かおるさん（大阪Y M C Aスタッフ）

O B O G：西村智恵、桜木貴博、高土雄輔、小山真利子さん

H H キャンパー：明石慈英、辻中佑巴、堤ひかるさん

9月B F	リストコイン	清水汎メン	189円
	新切手	清水汎メン	1600円

【クラブ役員会報告】 報告者：書記 牟 大盛

日時：2012年9月20日(火) 19:00～19:30

場所：大阪土佐堀YMCA 601号室

出席者：北村会長・石橋・五条・牟・田尻連絡主事・脇本メネット

協議事項

1) 10月例会：BF強調月間

森本栄三メン「マザーテレサに学んだ奉仕の心」

司会：石橋ルキメン 受付：北村・條・清水(民)メン

準備物：PC, プロジェクター 謝礼：1万円

食事：@¥1000(お弁当)シンエイフード

* 11月例会：石橋ルキメンの講演 演題「私の履歴書」

* 12月11日 クリスマス合同例会：茨木クラブとの合同例会

キャッスルホテル 18:30開始、清水汎メンご紹介のソプラノ・ピアノ

伴奏 総費用6万円を茨木クラブと折半とする。

2) IBCについて：パサデナクラブへの孫メットホームステイの件

訪問期間変更について：清水汎孫メットの予定により、今年のクリスマス前後となる予定とのこと。

3) EMC推進の件

新規加入対象者については、12月のクリスマス例会での入会の予定者。

現在の新入会対象者：村井達司氏、能勢嘉則氏2名と予定する。

4) HH支援事業の件：第12回拡大基金委員会にて協議する。

大阪クラブ ユースクラブ「仮称：HHリーダー会」設立の件

2013年 第2回 国内HHキャンプ開催の件

5) 中西部行事

10月8日(月・祝)チャリティーラン：HHOBOG1チーム支援

11月3日(土)土佐堀カーニバル：焼きそば屋台と手話教室予定

6) その他：中西部行事を中心に

東北大震災復興支援プロジェクト：2003年2月23日(土)「いきいきエイジングセンター」で各クラブで販売ブースを設けて、震災支援事業をする。

;大阪クラブも1ブースを持って、「焼きそば」販売の予定

秋の六甲山ソフトワークキャンプ：10月20日(土)、21日(日)一泊でリーダーや留学生とともに施設整備(ペンキ塗り)など労働奉仕をする。北村会長参加予定。

九州北部豪雨災害募金の件：9月例会ニコニコから献金する。

7) その他：11月17日 センテニアルクラブ30周年例会：

現在の参加者：北村会長・脇本博メンご夫婦・石橋・牟メン

【9月例会報告】

メネット会長 北村 信子

9月11日(火)18:15より9月例会が行われました。

メネット強調月間ということで、お弁当のほかにビール、ぶどう、今夏香港でのHH国際キャンプに参加した脇本メネットが香港のおみやげとして持ち寄ったクッキー、條さんからのスタチが並べられ、少し華やいだテーブルとなりました。

今月のゲストは、牟さん、脇本さんそれぞれ1名ずつのゲストのほかに、HH国際キャンプ報告の為にゲストが9名、ビジターも4名、合計15名となりました。HH国際キャンプ報告会では、3名のティーンエ

イジャーと大阪クラブHHキャンプOB OGの2名が、写真のスライドを使いながらどんなことをしたか、そのときの感想、オブジェやクラフト作り、またそのための準備やプレゼンの発表、さらにはビクトリアパーク、オーシャンパーク、マカオ観光、世界遺産めぐり、珍しい食事などなど詳しく一生懸命に報告してくれました。條さんは今回で33回目の参加と言うことで、HH国際キャンプ運営進行の改善すべきところを、冷静に述べられました。最後に、事情で行けなくなった会長に替わり、しかもキャンパーとしても参加して下さった脇本メネットが感想を話しました。途中ころんで足をくじかれたにも拘わらず懸命にとけこみ、支えて下さった様子を拝察いたしました。

皆さんの感想を伺うにつれ、このHHキャンプを継続支援していくことが大切なのだなあと、改めて思いました。また、聴覚障害青少年支援という共通のプロジェクトに取り組んでいる、京都プリンスクラブの岡西様と森様や、その仲立ちをして下さった井上様(大阪西クラブ)には、今回出席して下さったことで、今後さらに連携していけるのではないかと期待感を持ちました。充実感と一体感の例会でした。

【2012YYフォーラム参加報告】

会長 北村 知三

9月1日(土)午後1時半から、「2012年度中西部YYフォーラム」が、土佐堀YMCA会館3階で行われました。

司会は中西部Y「サユース事業の入江保夫主査(セントラル)。開会の挨拶は中西部江見淑子部長(なかのしま)でした。まず、「変わる大阪YMCAの働き—ボランティア構想とは」というテーマで、大阪YMCA総合研究所の田中真一所長の発題がありました。

その後は、パネルディスカッションがあり、大阪YMCA土佐堀会館の神田尚人館長(セントラル)、ワイズメンズクラブから鈴木璋三ワイズ(阪和部大阪サウス)、阪和部Y「サユース事業の中井政博主査(阪和部大阪泉北)の3氏で行われました。お茶菓子の懇親会があり、大阪YMCA末岡祥弘総主事の講評のあと、午後4時半終了しました。

大阪YMCAが制度改革された公益法人に認可されて以来、ワイズメンズクラブとYMCAとのコミュニケーションがより大切になっています。YMCAの運動を進めていくために、ともに考えて実施努力をしなければいけないことなど、の話でした。YMCA運動も、参加したメンバーによっては、これが大きな転換期だと言う人もいれば、内容はあまり変わらないのではないかと言う人もいました。

抽象的な言葉や話が多くなかなか理解しにくい内容でしたが、いずれにしてもこの新しい大阪YMCAを説明する資料の中で、ボランティア事業の展開を具体的に示す項目のひとつに、「HHキャンププロジェクト」が加えられていたことは、クラブにとってのひとつの大きな意義を感じました。

大阪クラブからの参加者は、清水(汎)、石橋ルキ、脇本博、北村の各メン、そしてYMCA総主事としての末岡メンでした。

【中西部会参加報告】

牟 大盛

9月15日(土)梅田 ホテルグランピア大阪にて、中西部メネット会に続いて午後2:30分から第16回中西部会が 大阪なかのしまクラブのホストで、約140名の参加で執り行われました。

第1部は式典です。書記 杉浦眞喜子メンの総合司会で、ワイズソングと賛美歌で開始です。来賓祝辞として末岡大阪YMCA総主事、成瀬西日本区理事などから、一言でユースの育成がYMCAとワイズの未来を左右するとの内容で祝辞がありました。

第2部は、現在 関西学院大学教育学部准教授の岩坂二規氏による「ユースワークの構想 教育と支援と居場所」の題目での講演会の開始です。講師の、岩坂氏は大阪YMCA常議員、土佐堀YMCA運営委員、関学聖和キャンパス学生Y、大阪YMCA国際専門学校学生Y顧問とされ、人権・環境・平和・

開発などのテーマをもとに、これからの地球市民教育の実践と手法を研究されています。YMCA とワイズの未来に向かっての課題と提案の講演となりました。青年を中心とした、あらゆる「居場所」を創造することに智恵と想像力を実践するべきであり、その「青年」にはわれわれワイズメンも含まれるとのことでした。

その「居場所」を造るために、いろんな場面での感動と夢を語り合う場を沢山作ることで、ユースの活動分野を広げるべきとの示唆をいただきました。

第3部は、今井利子メンによる乾杯で食事と歓談の時が始まりました。関東・九州は勿論全国からのワイズが集まった部会でした。皆が一同にユースの居場所を探る覚悟をもって、YMCA ソングと江見淑子部長の閉会の鐘で部会が無事終了いたしました。

(大阪クラブからの参加者：北村会長ご夫婦、脇本博メンご夫婦、牟大盛書記夫婦、清水汎メン、五条孝次郎メン、石橋ルキメン)

【六甲部部会参加の記】

石橋 ルキ

さる9月8日(土)13時から、ホテル竹園芦屋で「六甲部部会」が開かれた。芦屋クラブがホストクラブであったが、私、石橋が1998年中西部長であった時、大阪クラブの渡辺藤市郎が、当時芦屋テニスクラブで上野恭男氏など芦屋在住の仲間たちと毎週、テニスを楽しんでいた。上野氏らと諮ってこの仲間が芦屋クラブを設立することになった。大阪クラブのメンバーが仲介役をしたとの理由で、私も中西部を代表して設立総会で祝辞を述べたものである。

第1部は中道基夫関西学院神学部教授の格調高い奨励を中心にした礼拝、上野恭夫六甲部部長の挨拶、西日本区理事成瀬晃三氏、神戸Y総主事水野雄二氏らの祝辞などの式典へと移った。

第2部は神戸女学院音楽専攻卒業生によるコーラスグループ「プティタ・プティ」の演奏。9人のメンバーそれぞれの個性を發揮した、声量豊かな、余裕たっぷりのユーモアあふれるステージであった。「ウイーン我が夢の街」歌劇椿姫より「乾杯の歌」などが歌われた。第3部は懇談会、一皿ずつ、恭しく運んでくるフレンチフルコースのゆったりした食事タイムであった。この後続いたのが狂喜乱舞の歌、歌、歌、の3時間半であった。まずは「8クラブ対抗歌合戦」が始まる。芦屋クラブ「銀座の恋の物語」ではおきまりの男女デュエットのほか二組の社交ダンスのエキジビションもあった。神戸クラブ「サライ」では、最後に「サクラ吹雪のサクラの空へ」で、それぞれが両手に隠し持ったサクラ吹雪をほうり上げた。さんだクラブは「あんばんマンマーチ」であんばんマンとバイキンマンが会場を行進した。さて、採点の時間を利用して、隠し芸が披露される。鈴木誠也元西日本区理事のハーモニカ独奏、水野雄二総主事のギター弾き歌いのキャンプソング「みんな友達」広島クラブ大野氏の尺八「アメイジンググレイセス」など、芸達者な人もいるもんだ。後の2時間が本当の今日の部会の目的であった。芦屋クラブのメンバーの飯田義男メンが、昔で言う「歌声喫茶」のマニアで、歌声喫茶では、みんなが同じ歌本を手に、ハイ何ページ、ソレ何ページと次々と歌い続けるのだが、これを今日、飯田氏をリーダーで実行される予定であったが、飯田氏は4月に急逝されたため、クラブで飯田氏の愛唱歌150曲を載せた歌本を印刷発行されて(これがそれぞれの歌に因んだイラスト入りの立派な冊子である)全員で全部歌おうと成ったらしい。全部と言うわけには行かなかったが、ポートの大野氏神戸西の岡山氏、神戸の鶴丹仁氏の巧みなギター伴奏で、かなりの曲を歌った。大袈裟な意図にアツケに取られた部会であった。

【第17回びわこ部会に参加して】

豊島 正利

近江を全面に打ち出した第17回のびわこ部会が、8月25日(土)に、しかも午前10時から開催された。例年多くの部会が開催されているが、午前10時からの部会は初めてでした。参加者は47クラブから200名を越す盛会でした。

第一部式典は、江州音頭 祭文家櫻美家天勝(深尾勝義)さん一行による軽快な江州音頭で始まりしました。独特の節回しによるびわこ部7クラブ紹介とフラッグ(クラブ旗)の入場がありました。賑やかなオープニングでした。

開会に先立つ導入部は、近江八幡市の浄土宗西願寺の金森昭憲住職から「平家物語」名場面より学ぶ - と題して、琵琶説教を拝聴いたしました。有名な平家物語巻第九「敦盛最後」から熊谷弐心の件を演じていただきました。

11時5分から井上温代部長による開会点鐘が行われ、流れに従って進行し、12時5分までの1時間のほんとうに型通りあっさりした部会でした。第二部は12時15分から14時5分まで懇親会が行われました。最後は円陣を造り隣の人と手を組んで琵琶湖周航の歌を斉唱しておひらきになりました。

大阪クラブからは、北村会長と豊島が参加しました。

【第17回京都部会参加報告】

清水 汎

第17回京都部会が、9.09 ウェスティン都ホテル京都で15:00から開催されました。

第一部式典では、19クラブのバナーセレモニーがあり船木京都部部長による開会宣言、開会点鐘があり1:45時間の式典がありました。式典の来賓として京都府知事代理、京都市長門川氏の挨拶がありました。京都YMCA神崎総主事、成瀬西日本区理事もあり、京都地区のワイズメンクラブとYMCAが非常に良好な関係にあり、相互扶助が旨くできていることが伺えました。

京都部会の会員は増減があっても500名前後の会員が居られ、賛助金がひとり2万円でも1000万円前後の援助がYMCAに出来るのであり、中西部とは大変な違いがあります。

20年近く前に森田、岡本日本区両元理事のとき 如何に人集めをするか徹底して研究した成果が今日にあると思います。メインの4~5のクラブは40~70名の会員が居られ、19のクラブが相互に運営、行事に競い合っており、会員の年代は40~60歳の最も人生で活躍できるメンバーが揃っており、長年の努力とは言え、大阪地区との差は余りにも大きいのに驚くばかりです。大阪のYMCAは京都のYMCAより大きい存在であり、大阪YMCAを京都並みに支援するには、1000名近い会員が必要とおもいますが、これも一朝にはできません。先日のワイワイフォーラムで、ワイズはYMCAの酒のつまみ程度の援助しか出来ないとの意見もでていましたが、事実YMCAに対してその程度の力しか無いのかと思い残念な思いが残っています。

第2部は嘉門達夫の元気の出るライブがあり、約1時間ライブを楽しみました。

第3部は、懇親会があり18~20:40まであり、6時間近い部会となりました。食事ののち19クラブの代表による隠し芸が披露され、各会員が思い切り会を楽しんでいる光景を見ていると、京都の運営方法にはいろいろ批判はありますが、500人前後の会員を維持していくには、大いに参考にすべきものがあると思いました。一つの集団を盛り立て目標に向かわせるには、このような懇親会も必要かなと思いました。懇親会での乾杯は、次期京都部部長桂厚子がされ、終わり頃アピールタイム、クラブ紹介が続きホストクラブを代表して実行委員長新山兼司の謝辞がありました、一番最後は、全員が輪になって世界に一つだけの花を合唱してお開きとなりました。

【阪和部会に出席して】

清水 汎

第24回阪和部会が平成24年9月22日13:30~16:30 大阪上六のたかつガーデンで開催され、181名の参加がありました。

各クラブ会長のバナーセレモニーののち正野忠之部長の開会点鐘、挨拶があり、事業主任、事業主査の紹介と各人の挨拶、進行中の事業内容の説明があり、ビデオ等は使わず口頭で行われました。阪和部も139名が132名に減少になり、業績の向上のアピールとか、積極的事业活動等の説明は少なかったと思います。

成瀬西日本区理事の挨拶があり、そのあと阪和部各クラブの団結宣言があり、ワイズの時間は終わり、食事、歓談の時間となり、その中で区大会、各クラブのアピールタイムとなり、新入会員の紹介が続いて行われました。

この部会のメインイベントは、ユースリーダーの活動の紹介でした。大阪東YMCA 8名、奈良YMCA 11名、和歌山YMCA 9名のユースリーダー28名が参加し、各ユースリーダーの活動が報告されました。

和歌山YMCAは野外活動、キャンプ、スポーツ、イベント、またどうしたらやる気を起こさせるか、アメリカ人の若い女性リーダーも居られ、劇を通しておこなわれました。

大阪東YMCAは東北大震災の救援の模様を劇を通して面白可笑しく報告され、救援活動で東北の皆さんに喜んで頂いた様子を話されました。又老人ホームの介護活動も行っているようです。

奈良YMCAは各リーダーにココ、ピバ、あくあとかの名前を付けそのリーダー活動を演劇を通して詳しく解説しました。また世界大会にリーダーの伊勢全次郎君が参加し、各国のリーダーとの連携を図り如何にリーダー活動を活発化させるか、話し合い有意義なタイムを過ごしたとの報告もありました。

ユースの若いリーダーの活動は、ワイズの大きな財産であり、前途の明るい灯火となっているような感じを受けました。ユースリーダー達はワイズの活動が世界平和友好に役立っている話もあり、彼らから教えてもらう事も多々ありました。

YMCAの歌、畠平実行委員長長の謝辞と参加31クラブの紹介があり、閉会点鐘でお開きとなりました。

部会参加は各クラブとの友好を保ち、いろいろ勉強になることも多くあり、若い皆さんの参加を是非願いたいと思います、私もそろそろ引退の時期であり、これからのメンの人たちに、大阪クラブの存在感を高めて貰いたいと思います。 参加者 清水 汎メン、メネット

【第12回聴覚障がい青少年支援基金拡大委員会報告】

田尻 忠邦

日時：2012年9月27日(木) 午後6時30分~8時30分

場所：大阪YMCA会館6階601号室

出席者：北村知三、牟 大盛、脇本真知子、五条孝次郎、石橋ルキ、田尻忠邦 (以上大阪クラブ)

高土雄輔、勝矢千晶 (以上HHキャンプボランティア)、伊田洋子 (手話通訳者)

議題：

1. HHリーダー会設立について

- ・ 牟書記より設立の経緯についての説明があった。当初は大阪ワイズメンズクラブに所属するユースクラブとしての位置づけを考えていたが、独立した存在で大阪YMCAの活動に連なり、特にHHキャンプを中心に後輩の養成をしてもらいたい。そのために必要な経済的、人的支援は惜しまない。
- ・ HHキャンプOB,OGの出席者が2名だけであったので、具体的審議に入るのではなく、次回OB,OGを中心とした第1回リーダー会を持つ時の検討課題の確認をした。以下にその項目を列挙する。
 - 1) 会長の選任。大阪クラブとしては、本人の内諾を得て西村智恵さんを推薦するが、決定事項ではないので、HHリーダー会で改めて決定してもらいたい。
 - 2) 役職と人選。会長以外に書記、会計等の役職が必要であると思われる。

3) 会員規約の制定。

4) 活動方針(目的)について検討し決定する。主な項目として

HH国内キャンプの企画運営

後輩の指導養成

普通校に通学する聴覚障がい児童、生徒、学生の支援活動

聴覚障がい者の地位向上のための啓発活動など

2. 第2回HH国内キャンプ2013について

以下の項目について確認した。

1) 日程：2013年8月9日(金)～11日(日) (六甲山YMCA仮予約済み)

2) キャンププログラム(昨年の参加者のリピートがあるかもしれないので、新企画が必要である。)

3) 広報について：近畿二府三県の聴覚支援学校の訪問も検討する。

4) 普通校に通う聴覚障がい生徒の掘り起こしについて検討する。

3. その他

- ・以上1.2.も含め、あくまでも大阪クラブからの提案または、ガイドラインであって、第1回HHリーダー会において、リーダー諸氏の自由な発想のもとで白紙の状態から議論してもらって結構である。
- ・第1回HHリーダー会は、10月のチャリティラン、11月の土佐堀カーニバルの終了後、11月中に実施する方向で日程調整する。

【第34回国際HHキャンプに参加して】 西村 智恵(HHキャンプリーダー)

今年のHHキャンプは私が今まで参加してきた中で初めて独特なキャンププログラムだった。キャンプ場での歓迎式、夕食後グループに分かれて、お互い紹介し合ったあと、いきなりキャンプテーマの『make some noise』を表現するために段ボールや風船やカラフルワイヤーや色紙などを使って工作が始まった。これは何の意味なのかよくわからず、香港マカオリーダー以外のキャンパーは頭をかしげながら言われるまま『家族』を作っていた。リーダーにどういう意味なのか聞いたのだが、手話ができないし、英語で説明してくれたのだが、曖昧な意味でしかわからず、頭の中は???翌日になってやっとその意味がわかったのだが、もっとわかりやすい単語で表現したテーマだったらと思った。私の英語力が乏しいのもごもともだが。

2日目の基調講演にも内容がつかめずついていけなく、中には堂々とした態度で寝てます。というキャンパーもいた。恥ずかしかったし、情けなかった。内容的に難しく、初めて参加したキャンパーたちにはレベルが高すぎる。まだまだそれぞれの国の手話の読み取りができないのに理解しろという方が無理。時間ももったいないと感じた。その後、各国がそれぞれの国の現状発表があって、六甲での事前研修で話し合った内容を目で見て分かるように、スライドやスタンツ(寸劇)にしたのは大きな成功だったと思う。

午後からは開会式に向け、民族衣装に着替え、途中で暑い中一生懸命手話のうちわを配ったのだが、意図が伝わらず、怪しい目で見られ、ほとんど受け取ってもらえず。そりゃそうだな。開会式はショッピングモールのフロアで、記念写真を撮るための位置確認、踊りのリハーサルを行い、その中でハンドクラフトしてる時に本番が始まるから終わり、踊りに出て結構振り回された。キャンプ生活の目玉でもあるハンドクラフトもこの場で終わってしまい、あっけなかった。とても残念に思った。なんでキャンプ場でなく、公の場でやるのか?に不満が残るけど、政府や一般市民に対して聴覚障がいを持つ私たちをアピールすることに全力を尽くす様子には驚かされたと同時にどの国でも課題となっている福祉に関する認識をもっと社会に発していかなければならないと感じた。

プログラムも朝から晩までぎっしりスケジュールが詰まり、キャンパーたちの交流している場面を見るこ

とが少なく、夜になっても他の国の宿舎へ遊びに行く事もなく、寝るのも早いし、じっとしていることに慣れてきているように見えた。この状態でキャンプは終わってしまうのか？

3 日目、オーシャンパークからやっとグループ活動が盛んになってきて、徐々に打ち解けて楽しそうにおしゃべりしているキャンパーがちらほら。おっ、やってるぞ！見た瞬間、心が躍った。

4 日目のマカオからはグループごとに食べ歩き、半日オリエンテーリング、たっぷり時間をかけて交流することができて、あちこちでも楽しそうにおしゃべりしている。これが私たち聴こえない者が特技とする魔法の手。言葉が違っていても伝えようとする気持ちさえあれば、不思議と通じ合う。これが見たかった。本当に嬉しかった。

最終日の夜はスカイ 100 に行き、香港の夜景を楽しみ、写真を撮り合い、帰りも遅かったのだが、寝る間も惜しんで夜が更けるまでおしゃべりしたり、シャツにサインしあたりと別れを惜しんでいたのが、何よりも嬉しかった。ちょっと順番を間違えて、時間がかかってしまったただけなんだ。取り越し苦労だったのかな。でもやっぱりあの 2 日間はもったいなかった。リーダーとしてももっともみんなを引っ張ることができなかった力の無さにちょっと悔いが残る。私としてはたった 1 週間しかないかけがえのない時間を有意義に使って交流してもらいたかった。

同じ聴こえない障がいを持った仲間たちはどの国でもやはり似たような悩みを持っている。色々語り合っでそれぞれの国の事情を知ったり、同じ悩みをどうやって解決していけばいいのかをお互いに考えあったり、お互いを知るためのフリータイムやアクティビティ活動が少なく朝から晩までスケジュールびっしり、討論や講演が多かったのは残念だった。でも、みなさんと一緒に楽しいキャンプを共に過ごさせていただいたことには間違いありません。ありがとうございます。

最後になりましたが、キャンパーたちも安くもない高い参加費を出して参加させてくれたご両親の気持ちに応え、感謝していることを信じ、このキャンプをご支援頂いた大阪ワイズメンズクラブのみなさま、YMCA 関係者のみなさまに心からこのキャンプが未永く続くことを願い、感謝申し上げます。

【YMCA ニュース】

第 2 3 4 回大阪 YMCA 早天祈祷会

日 時：10 月 18 日（金）7：30～8：30

場 所：大阪 YMCA 会館 10F チャペル

奨 励：朴志瑛 牧師（在日大韓基督教大阪教会）

参加費：300 円（軽食付き）

大阪 YMCA 創立 130 周年記念イベント概要

と き：2012 年 10 月 27 日（土）

と ころ：大阪 YMCA 会館

13：00～14：00 特別記念講演

「これからのグローバル人材に求められる『ミッション（使命）』とは」
星野俊也氏（大阪大学大学院国際公共政策研究所教授）

14：30～16：30

基調講演

「若者の居場所と参加～グローバル時代のユースワークを求めて～」
田中治彦氏（上智大学総合人間科学部教授）

パネルディスカッション

コーディネーター 岩坂二規氏（関西学院大学教育学部准教授）

パネリスト

坂西卓郎（財団法人 PHD 協会事務局長）

近藤麻衣（大阪 YMCA 国際専門学校高等課程表現コミュニケーション学科教員）

井上晴雄（日本生命保険相互会社社員）

田中久美子（株式会社コーエイ研究所職員）

16：30～17：30 大阪 YMCA 創立 130 周年記念礼拝

奨励 村山 盛芳（日本基督教団浪花教会牧師）

アジアのパートナーYMCA との調印式が執り行われます。

18：30～20：00 創立 130 周年記念パーティ（ホテル・ザ・リッツカールトン大阪）

参加費（2万円）の一部はグローバルリーダーシップ育成の資金となります。

【今後の行事予定】

今後の行事は、次のとおりです。積極的な参加をお願いします。

1．瀬戸山陰部会・・・10月8日（月・祝）

2．チャリティーラン・・・10月8日（月・祝） 於：大阪城公園

3．九州部会・・・10月20日（土）

4．六甲ソフトウェアキャンプ・・・10月20日（土）～21日（日）

5．大阪YMCA創立130周年記念イベント・・・10月27日（土）

6．土佐堀カーニバル・・・11月3日（土）

7．センテニアルクラブ30周年例会・・・11月17日（土）受付 13:30 於：ホテルグランヴィア大阪

参加希望者は、牟 大盛書記宛（090-8195-0914 fax 06-7397-3337）ご連絡ください。

【CSより】

献品は下記住所をお願いします。

「釜ヶ崎いこいの家」 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋2-5-23 : (06) 6631-2169

【編集後記】

9月30日は、旧暦の月遅れのお盆であり、中秋の名月です。ようやく秋を感じるようになりましたが、夏の疲れが出て、体が重くなっています。日本海、東シナ海とも波高しとなっていますが、難破しないことを祈っています。私は、例会を2ヶ月欠席しており、恥じ入っています。（編集委員：松原伸幸）